

令和6年度 世田谷区立下北沢小学校 学校自己評価報告書

I 「学校自己評価」について

肯定的評価（とても思う・思う）の数値が90%以上の項目・内容について、概ね達成できたものと判断した。今後も継続して推進するとともに、建設的に工夫・改善を加えて取り組んでいく。

また、肯定的評価（とても思う・思う）の評定が70%未満の項目・内容については課題として捉え、その中で特に今後の改善が必要な事項について改善策を検討した。

II 評価結果の考察

1 児童アンケートについての考察

○「学校が楽しい」と回答した児童が90%となり、学校生活に満足している様子が伺える。また、「学校行事は、達成感がある」が昨年度を上回り、様々な学校行事が行えるようになったことが児童の達成感につながった。

●学び舎の中学校に関する情報提供や中学生との交流についての肯定的評価が前年比－13ポイントとなった。中学校生徒会活動や運動会のボランティア、部活動体験をしてきたが、まだ児童の実感に至っていないことが分かった。学び舎の情報提供を積極的に行うとともに、工夫しながら直接交流の機会をさらに増やしていきたい。

2 保護者アンケートについての考察

○全体として高い肯定的評価を得ている。保護者の方が学校の今日育活動にご理解をいただいていることが数値から明らかになった。引き続き連携しながら取り組んでいきたい。

●学習指導に関する4項目全ての肯定的評価が昨年度をわずかだが下回った。日々の教育活動を保護者に分かりやすく説明していく必要がある。

3 地域アンケートについての考察

○学校の安全性について、全項目で肯定的評価は100%と非常に高く、学校の取組を地域の方にご理解いただいていることが明確になった。町会との避難所運営に関する情報共有など、引き続き連携を深めていく。

○学校行事について、全項目で昨年度を上回った。地域の方に参加していただく機会が増え、児童の姿を間近に見ていただけたことが成果につながったと言える。引き続き、地域の方にも参加していただける機会を増やしていく。

○学校からの情報提供について、昨年度より数値が向上した。ただ、目標の数値には届いていないのでお便りやホームページを通して、さらに情報発信していく必要がある。